



学校教育目標
自分や相手を大切にし、
考えて行動する名瀬っ子

名瀬小だより

6月号

令和5年5月31日
横浜市立名瀬小学校
校長 中嶋 孝宏



たくさんの応援ありがとうございました!!

副校長 太田 理絵

柔らかな明るい緑色の早苗が初夏の風にたなびき、つばめが低く飛び回る姿を見る季節となりました。子供たちも新しい学年にすっかり慣れ、元気なあいさつが聞こえてきます。

5月27日(土)に行いました第49回名瀬リンピックは、天候にも恵まれ無事に終えることができました。今年度もプログラムを精選し、半日開催としました。そして新たな取組として低・中・高学年ブロックで演技・競技を行いました。2学年合同の演技はより迫力のあるものに、競技は上の学年が下の学年に声をかけたり教え合ったりしている姿が、練習中からみられました。当日は緊張して演技に臨む姿や、仲間と協力して一生懸命にゴールへ向かう姿など、感動の場面がたくさんあり、そして競技・演技の終わった後の満足感や達成感を感じられる表情がたくさん見られたことが何よりでした。PTA役員の皆様には、学校周辺の見回りや校内巡視、写真撮影等で、名瀬中学校の生徒にはボランティアとしてお手伝いをしていただき、大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。

運動会は学校の行事の中でも全校が関わる大きなものです。私たちは、子供たち一人ひとりに『頑張った』という自信と満足感を持って取り組んでほしいと願っています。そのために、

名瀬リンピックのめあて

『名瀬っ子みんなでもり上げ、一人ひとりがかがやける名瀬リンピックにしよう』

から、自分がどんなことを頑張りたいのか、具体的な目標をもって取り組むように声をかけてきました。また、みんなで力を合わせて乗り越えると、一人で頑張るよりも、もっともっとできることが大きくなったり、嬉しいことが増えたりすることも実感してほしいと思っています。当日も、また当日に向けて頑張ったことも、一人ひとりの成長につながっています。運動会を通して「目標をもって取り組むことができたか」「みんなで力を合わせることのよさを実感できたか」を振り返り、次の活動につなげてほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、来賓の皆様には、運動会を盛り上げるためにたくさんの応援をいただき、ありがとうございました。運動会での子供たちの頑張りは、これまでの練習の成果に加え、当日の応援があつてのことだと思えます。今後も子供たちが力を出し切る達成感を数多く味わえるように、様々な場面で応援いただけると幸いです。

